

## あらゆる縫製ニーズに一貫対応する「工業縫製のプロ」

株式会社ダイワホーサン 奈良県宇陀市

### ■B2C、B2Bの様々な縫製ニーズに対応

株式会社ダイワホーサン（代表取締役社長：辻本小百合氏）は、縫製品の企画・開発、製造・販売まで一貫対応する「工業縫製のプロ」。かばんから自動車用品、ライフジャケット、パワーアシストスーツの部材まで製品は多岐にわたる。

同社は1966年、辻本社長の父・勝次氏（現会長）が、かばん縫製工場として個人創業。円高など逆風に幾度も見舞われつつ、「大和の国で縫う」との社名のとおり国内での縫製にこだわり、デザイン性、

耐久性の高いかばんを供給してきた。



同社製通学かばん

中でも通学かばんには定評があり、背負い心地のテスト

を重ねてフィット感を高めたカスタマイズモデルを大学と共同開発。2019年9月には、東京の有名私立小学校向けに、子どもたちの快適な通学をサポートするかばんを新たに開発した。

### ■自動車用品の製造で生産管理能力を培う

同社は、かばん製造で培った、厚みも種類も様々な生地を均質に縫製するノウハウを産業分野にも展開し、高級自動車向けの可動式サンシェード（日よけ）等の自動車用品を製造している。

「不良率1ppm（100万分の1）未満」という、自動車業界の求める高い品質基準をクリアするため、いち早くISO9001を取得。PDCAを回して同規格の要求事項に真摯に向き合うことで、更なる高品質を追求する手段として活用している。

現場で培った生産管理ノウハウは、高い安全性が求められるライフジャケット等の防災用品にも活かされている。



同社製サンシェード

### ■課題解決を通じて技術力を磨く

これまでから同社の開発部門には、難縫製素材が持ち込まれ、その都度、試行錯誤を繰り返して対応してきた。

パワーアシストスーツのロボットと身体を繋ぐベルトにも、同社縫製品が使用されている。通気性のある繊維素材を用いてフィットする形状を提案し、頑強性と機能性を両立しながら量産化に貢献した。

また、繊維素材メーカーからの依頼で製造した製鋼所等向けの断熱材は、特殊素材を利用したカバーで熱源を覆うことで放熱を軽減し、工場内の労働環境を改善するだけでなく、空調効率を高めることで光熱費削減にも寄与する。

辻本社長は「様々な顧客の困りごとに全力で対応してきた経験が、自社の企画開発力の向上につながった。これからも社是である『働くとは、端（=自分の周囲）を楽にする』を実践し、真に社会に役立つ製品を、ここ宇陀の地から生み出していきたい」と熱く語る。

（太田宜志、前田 徹）



同社の縫製技術が活かされたパワーアシストスーツ（左）



同社工場（右）

### 株式会社ダイワホーサン

〒633-2103  
奈良県宇陀市大宇陀野依 220-3  
TEL：0745-83-2785  
FAX：0745-83-3524  
URL：http://daiwahosan.com/  
E-mail：info@h-daiwa.co.jp



辻本小百合 社長